



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社
 コード番号 7433 URL http://www.hakuto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近藤 和浩 TEL 03-3225-3412
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	71,825	31.8	1,912	186.3	2,085	172.7	1,582	209.0
29年3月期第2四半期	54,491	△9.1	667	△64.3	764	△59.9	512	△62.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,739百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △1,034百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	74.53	—
29年3月期第2四半期	23.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	84,165	53,579	63.7	2,570.22
29年3月期	78,261	52,748	67.4	2,413.21

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 53,579百万円 29年3月期 52,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	5.0	3,200	54.6	3,300	65.9	2,400	26.1	113.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	24,137,213株	29年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,291,103株	29年3月期	2,279,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	21,229,674株	29年3月期2Q	21,808,412株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では安定的な経済見通しを背景に利上げのペースは順調と見込まれており、株式市場も好調を維持しております。欧州では各地の政局に改革の動きがみられるものの、政治リスクレベルまでの顕著な進展はみられておりません。アジアでは中国の現政治体制の維持・強化が着実に進行しつつあるものの、朝鮮半島における緊張感がこれまでにない高まりを見せており、世界的な影響が危惧されております。我が国では為替の安定などにより企業業績は堅調であり、株価も安定的な上昇を見せました。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、産業分野・民生分野ともに幅広い分野において半導体需要の好調が維持され、特に自動車分野、白物家電分野、モバイル分野における好調が継続しております。一方で、通信関係分野において中国通信インフラ市場の軟化などにより、一部落ち着き感が出てきております。

上記背景により、自動車産業向け車載関連製品並びに産業用機械向け製品の需要は堅調に推移しており、今後のIoT (Internet of Things) 市場への拡大が期待されます。

工業薬品関連では、原油価格や為替に不透明感があるものの、エチレン系誘導品の需要は、中国・ASEANを主としたアジア地域の後押しにより石油化学製品の需要は好調を維持しております。紙・パルプ分野では、通信販売市場における板紙生産高の推移が堅調に推移するも、原材料費や燃料費の変動が依然として懸念される状況となっております。

このような環境下において、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は718億25百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間は、為替水準が一時的な円高基調となるも、比較的安定的な水準を示したこともあり、外貨建て取引の利益率も底堅く推移したため、連結売上総利益は93億23百万円（同22.7%増）となり、連結販売費及び一般管理費として74億10百万円（同6.9%増）を計上した結果、連結営業利益は19億12百万円（同186.3%増）、連結経常利益は20億85百万円（同172.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億82百万円（同209.0%増）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品分野では、通信インフラ市場は総じて低調に推移し、中でも中国向け通信関連での生産調整などの影響により当社製品の販売は伸び悩みました。

一方で、自動車関連・産業機器関連の市況は引き続き好調を維持しており、民生機器・白物家電関連においても4Kテレビ、エアコン、タブレットを軸とした生産が好調なことから当社製品の販売も堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は560億43百万円（同38.3%増）、セグメント利益は7億67百万円（前年同期はセグメント損失2億30百万円）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、国内市場での真空ポンプ置き換え需要の低迷、半導体関連製造装置の投資時期延伸などによる市況の影響から販売は低調に推移したものの、台湾地域を中心に次世代スマートフォン向けプリント基板装置の追加投資の押し上げにより販売が伸張しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は108億6百万円（同19.8%増）となり、セグメント利益は6億17百万円（同68.5%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、原油価格や為替変動に不透明要素があるも、石油化学分野での需要を反映し、酸性ガス吸着用アミン等の販売が好調に推移しました。また、紙・パルプ分野では消泡剤やフェルトコンディショニング剤など販売も堅調に推移し、化粧品分野においては化粧品基剤及びOEMの販売においても好調を維持しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49億68百万円（同0.7%増）、セグメント利益は4億31百万円（同3.8%減）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億41百万円（同1.7%減）、セグメント利益は12百万円（同11.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が59億4百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が25億90百万円、受取手形及び売掛金が15億41百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して8億31百万円増加し、535億79百万円となりました。これは主に、利益剰余金が11億43百万円、その他有価証券評価差額金が10億30百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは7億76百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは4億6百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは92百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して3億38百万円増加し、当第2四半期末は80億86百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加25億98百万円、売上債権の増加16億32百万円等の支出要因がありましたが、仕入債務の増加25億29百万円、税金等調整前四半期純利益21億46百万円等の収入により、営業活動によるキャッシュ・フローは7億76百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には売上債権の減少等により68億57百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出3億円、定期預金の預入による支出1億11百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは4億6百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には投資有価証券の取得による支出等により、6億79百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入による収入(純)14億67百万円等の収入がありましたが、自己株式の増加額14億70百万円、配当金の支払額4億37百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは92百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、長期借入金の返済による支出等により、11億52百万円の支出となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月28日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,748	8,198
受取手形及び売掛金	28,297	29,839
電子記録債権	4,385	4,610
商品及び製品	17,263	19,854
仕掛品	63	41
原材料及び貯蔵品	495	608
繰延税金資産	897	769
その他	1,940	1,715
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	61,081	65,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	991	973
機械及び装置（純額）	2,173	2,180
土地	3,080	3,080
その他（純額）	518	537
有形固定資産合計	6,764	6,772
無形固定資産	819	643
投資その他の資産		
投資有価証券	9,184	10,693
繰延税金資産	52	53
その他	427	427
貸倒引当金	△68	△46
投資その他の資産合計	9,595	11,127
固定資産合計	17,179	18,543
資産合計	78,261	84,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,291	16,523
電子記録債務	2,266	2,684
短期借入金	2,243	3,733
リース債務	39	19
未払法人税等	212	402
賞与引当金	831	907
製品保証引当金	8	6
その他	1,913	1,802
流動負債合計	21,805	26,081
固定負債		
長期借入金	1,404	1,700
リース債務	6	23
繰延税金負債	1,953	2,376
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	317	378
その他	14	14
固定負債合計	3,707	4,504
負債合計	25,513	30,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	36,782	37,926
自己株式	△4,040	△5,511
株主資本合計	48,131	47,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,203	5,234
繰延ヘッジ損益	△2	14
為替換算調整勘定	824	888
退職給付に係る調整累計額	△408	△363
その他の包括利益累計額合計	4,616	5,774
純資産合計	52,748	53,579
負債純資産合計	78,261	84,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	54,491	71,825
売上原価	46,892	62,502
売上総利益	7,599	9,323
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,280	2,350
賞与引当金繰入額	663	801
退職給付費用	243	239
その他	3,744	4,019
販売費及び一般管理費合計	6,931	7,410
営業利益	667	1,912
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	177	193
持分法による投資利益	34	34
その他	36	51
営業外収益合計	251	283
営業外費用		
支払利息	22	16
為替差損	112	63
クレーム処理費	6	2
その他	13	26
営業外費用合計	154	110
経常利益	764	2,085
特別利益		
事業譲渡益	—	29
子会社清算益	—	21
固定資産売却益	0	8
その他	4	4
特別利益合計	4	63
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
その他	5	0
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	764	2,146
法人税等	252	564
四半期純利益	512	1,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	512	1,582

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	512	1,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△610	1,031
繰延ヘッジ損益	24	17
為替換算調整勘定	△1,000	64
退職給付に係る調整額	42	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	△1,546	1,157
四半期包括利益	△1,034	2,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,034	2,739

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	764	2,146
減価償却費	426	448
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△164	75
受取利息及び受取配当金	△181	△197
支払利息	22	16
持分法による投資損益 (△は益)	△34	△34
事業譲渡損益 (△は益)	—	△29
子会社清算損益 (△は益)	—	△21
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△6
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4	9
売上債権の増減額 (△は増加)	5,794	△1,632
たな卸資産の増減額 (△は増加)	742	△2,598
仕入債務の増減額 (△は減少)	△319	2,529
その他	83	△67
小計	7,139	639
利息及び配当金の受取額	194	210
利息の支払額	△22	△16
法人税等の支払額	△454	△57
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,857	776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△111
有形固定資産の取得による支出	△136	△300
有形固定資産の売却による収入	0	8
無形固定資産の取得による支出	△33	△35
投資有価証券の取得による支出	△367	△45
事業譲受による支出	△135	—
事業譲渡による収入	—	37
その他	△7	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△679	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	15,430	22,300
短期借入金の返済による支出	△15,458	△20,832
リース債務の返済による支出	△24	△11
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△697	△541
自己株式の増減額 (△は増加)	33	△1,470
配当金の支払額	△435	△437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,152	△92
現金及び現金同等物に係る換算差額	△508	61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,516	338
現金及び現金同等物の期首残高	8,366	7,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,883	8,086

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,036,300株の取得を行いました。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,470百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,511百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、順徳晨天電器有限公司は清算終了したことにより、連結の範囲から除外しております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社ルーフスは保有株式の譲渡により、持分法の適用範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	40,532	9,019	4,933	347	54,832
セグメント利益	△230	366	448	13	597

当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	56,043	10,806	4,968	341	72,159
セグメント利益	767	617	431	12	1,828

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	54,832	72,159
セグメント間取引消去	△340	△334
四半期連結財務諸表の売上高	54,491	71,825

(単位：百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	597	1,828
のれんの償却額	△8	△5
その他の調整額	78	89
四半期連結財務諸表の営業利益	667	1,912